

シリーズ
 仏教語豆辞典
 第6回



彼岸 (ひがん)



日常的に使っている言葉には、仏教の言葉から生まれた「仏教語」がたくさんあります。由来をたどってみると、その言葉の理解が深まったり、本来の意味との変化に驚いたり、とても興味深いです。なじみのある言葉を、仏教とのつながりからみてみましょう。

俳句では春の季語



「暑さ寒さも彼岸まで」「ひがん花」「ひがんだんご」などと、彼岸は昔から日本人に親しまれてきた国民的行事です。

春分・秋分の日を中日とし、その前後一週間のあいだ、寺々では彼岸会(ひがんえ)という法事がつとめられ、祖先をしのび、墓参や寺院に参詣する期間となっています。

彼岸とは、文字通り、向こう岸のこと。サンスクリット語「パーラミター」の漢訳「到彼岸(とうひがん)」を略したもので、私たちの住む迷い多い此岸(しがん)から、煩惱(ぼんのう)の川を渡り越えて到達する仏の世界をいいます。

お釈迦さまは、此岸から彼岸へ到達するための道として、六波羅蜜(ろっばらみつ)の教えを説いておられます。

太陽が真東からのぼり、真西に沈んでいくこの日に、此岸の現実を反省し、彼岸の仏さまのお徳をたたえるのです。

そういえば、極楽は真西にあると聞きました。

(辻本敬順著『くらしの仏教語豆事典』(本願寺出版社)より転載)



今月の行事予定

2023年 9月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|---------------------------------------|-----------------------------------|----|------------------------------------------------------------|
| ● 印のある行事は オンライン生配信 します → http://www.koumyou.net/tenshin | | | | | | |
| 3 7:00日曜礼拝 ● | 4 | 5 | 6 | 2 10:00納骨堂合同参拝 13:30グランドゴルフ | | |
| 10 7:00日曜礼拝 ● | 11 | 12 | 13 | 9 13:30グランドゴルフ | | |
| 17 7:00日曜礼拝 ● | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 秋分の日 10:30やすらぎ堂秋法要 (大町やすらぎパーク) 13:30天真寺秋彼岸法要 ● |
| 24 7:00日曜礼拝 ● | 25 | 26 | 27 14:00公開仏教文化講演会 節談説教((アミュゼ)柏) | 28 | 29 | 30 10月 20日 法話会 |

一緒にグランドゴルフしませんか。毎月第1・3土曜日13:30～。参加者募集中です！運動＆茶話会で楽しみましょう。

【講師】福間義朝師(広島)

天ちゃんの一言



- 天真寺住職が住職就任30年で表彰されました！
築地本願寺から、住職としての長年の功労に対して表彰状と、記念のお経本を頂戴しお祝いしていただきました。これも支えてくださったご門徒さんのおかげと感謝申し上げます。
- 9月1日午後2時 和田堀廟所「永代経法要」で副住職がお話をいたします
ご自由にお参りいただけます。場所:築地本願寺 和田堀廟所(東京都杉並区永福1-8-1)
- 9月27日午後2時 節談説教を聞きませんか(天真寺が主催寺院の一つです、案内ビラ同封)
- 仏事のご相談、お墓のお悩みはどうぞお気軽にご相談ください

- 永代合葬墓 やすらぎ堂 (松戸・大町やすらぎパーク内) 管理費なし
- 永代合葬墓 あんのん堂 (親鸞聖人廟所・京都大谷本願寺内) 管理費なし
- 一時預かり 納骨堂 (天真寺2F) 年間管理費 1万2千円



- 「天真寺門信徒会」に入会し一緒に仏法を聞きませんか
毎月仏教冊子&寺報を送付しています。法話会やお盆・お彼岸など法要に自由にご参加いただけます。年会費:3千円 会費振込先:ゆうちょ銀行「天真寺門信徒会」00130-6-567186
- 天真寺ホームページでお寺の日々を綴っています

住職のブログ「住職の独り言」 blog.goo.ne.jp/ranman_kn
 副住職のブログ「天真寺通信」 tenshin.or.jp/



お寺の掲示板の言葉

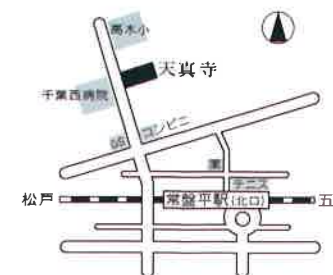
知ってやる罪は
 重い罪
 知らずにやる罪は
 深い罪
 いずれの罪も
 縁次第



天真寺

〒270-2251
 千葉県松戸市金ヶ作106番地
 TEL 047-389-0808
 FAX 047-389-0809

www.tenshin.or.jp



一口法話「私が泣ける場所」



ある日、都内の駅で待ち合わせをしていて、5歳くらいの少女が、一人で今にも泣き出しそうな顔で立っています。その駅は通勤・通学の人はもちろん、近くにある球場に向かう人たちがこった返し、次から次へと人が押し寄せてきます。どうやら少女は人の波にのまれてしまい、母親とはぐれて迷子になってしまったようです。



その少女の姿を見た学校帰りの大学生らしい女性が、一緒にお母さんを探してくれている様子です。しかし5分経ち、10分経っても、お母さんは見つかりません。しばらくして大学生が駅員さんに尋ねると、駅員室に迷子を探す女性がいるとのこと。すぐにその女性が少女のところへ連れて来られ、やっと少女はお母さんに会えました。少女は母親の姿を見た瞬間、お母さんの胸に飛び込むと、思い切りワンワンと泣き出しました。



少女の涙を見て、私はハッと気づかされました。人は悲しくても、つらくても泣けないことがあるのです。どんなに不安で心細くても、少

女は一人では緊張と孤独の中で必死に耐えていたのです。母親の顔を見て、胸の中に抱かれ、初めて安心して涙を流すことができたのでしよう。

『観無量寿経(かんむりようじゅきょう)』という経典には、主人公であるイダイケ夫人が涙を流される場面が説かれます。マガダ国の国王・ビンバシヤラ王と、そのお妃・イダイケ夫人の間に、アジャセという一人息子を授かります。しかし、そのアジャセ王子は成長すると、クーデターを起こし、父王は牢獄に投獄されます。続いて母であるイダイケ夫人も、妃としての地位、名誉、財産をすべて奪われ、愛すべき我が子にも裏切られた悲しみの中、牢獄に投獄されます。これまで幸せな人生のためにと手に入れたきたものすべてを失い、何も頼りとするものがなくなっていくのです。



そこに、お釈迦さまがお出ましになります。イダイケ夫人は自らつけていた宝石を断ち切り、我が身を大地に投げ出して、お釈迦さまに向かって号泣されます。



そして、「我が子アジャセ王子は、何の罪があつてあんな悪い子になってしまったのか」今回の事件の首謀者である者はお釈迦さまの親戚ではないですか」と愚痴の限りを尽くします。お釈迦さまはそれには何も答えず、ただその話を聞きになります。



疲れ切ったイダイケ夫人は、「私のために憂い悩みのない世界をお説きください」と言い、そこでお釈迦さまは苦悩を抱えたあなただからこそ救わずにはおれないと立ち上がられた阿弥陀如来のお心をお取り次ぎになりました。



私は今、「確かである」と信じているものを握りしめ生きていますが、すべては末通らないものばかりです。いつか一つ一つ手放していかなくてはならないのです。しかし、私は他人に弱さをさらすまい、涙など見せられないと、歯を食いしばって必死に生きています。その姿はまるで迷子の少女と同じです。(続き次頁へ)



オンライン参加はこちらから



秋彼岸法要

【日時】 9月23日 (土・秋分の日)

午後1時半～3時半 おつとめ、ご法話(60分1席)

ふくまぎちょう

【講師】 福間 義朝 師

(広島県三原市 教専寺住職、京都 中央仏教学院院長、本願寺派布教使)

毎年楽しみにされているご門徒さんも多い宗門でも大人気の布教使の先生です。お話を聞かたび、お念仏に出遇えたよろこびを実感します。著書多数。ぜひこの機会にお聴聞くださいませ。先生に聞いてみたい質問も大募集です。法要当日、開始時間までにお知らせください。

【場所】 天真寺本堂

どなたさまも自由にご参加いただけますのでぜひお参りください。



★オンラインでも参加可能です→<http://www.koumyou.net/tenshin>
天真寺のHP(tenshin.or.jp)からも簡単に見られます「天真寺通信」からクリック!



大町やすらぎパーク内
やすらぎ堂 秋法要

日時: 9月23日 (土・秋分の日)

午前 10時半～11時

場所: 大町やすらぎパーク内 やすらぎ堂前
(松戸市串崎新田170-3)



やすらぎ堂は天真寺の永代合葬墓です。どなたさまもお参りいただけますので、ご自由に法要にご参加ください。やすらぎ堂では春・秋・お盆に合同法要をつとめています。

(前頁より) 阿弥陀如来は、私の悩み苦しみをすべてご存じだからこそ、あなたを決して見捨てない、そして浄土に生まれていくのちであると説き、南無阿弥陀仏の六字となって私に届いてくださっています。母親に抱かれた少女のように、お釈迦さまに出遇われたイダイケ夫人のように、涙を流せる場所。それは阿弥陀さまの前だけです。私の悩み苦しみを知ってください。仏さまのあたたかな慈悲に抱かれて生かされていることにお念仏申す日々です。

(浄土真宗本願寺派千葉組オフィシャルウェブサイト
法話原稿より掲載)